

◆町民運動会（7/5）で、防災関連の競技が実施されました。

7月5日に開催された町民運動会では、日頃から防災への意識を持ってもらおうと、「防災〇×クイズ」や「防災障害物競争」が行われました。

防災〇×クイズの内容は次のとおりです。今一度、問題と答えを確認して、今後の参考にしてください。

～問題～（防災〇×クイズ）

第1問 突然の地震。まずすべきことは、身の安全を確保するよりも「火を消す」ことである。

第2問 ガソリンスタンドのすぐ近くで地震に遭遇しました。このような場合、ガソリンスタンドは丈夫な建物なので、ガソリンスタンドの敷地内に避難するとよい。

第3問 大地震が起きたら、すぐに町の指定した避難所へ避難することが大切である。

第4問 大災害時は、テレビやラジオは当てにならないので、その場にいる人の声を頼りに行動を決定することが必要である。

第5問 災害に備えた家庭の備蓄は、最低でも水は1人3リットル×3日分、食料は1日3食×3日分が必要である。

※上記問題の答えは次のとおりです。

第1問 ※正解は「×」

揺れが収まってから火を消す。まずは身の安全の確保が正解です。揺れている最中に火を消しに行くと、かえって大やけどの危険があります。

第2問 ※正解は「〇」

ガソリンがあるので火災の危険性があると思われませんが、ガソリンスタンドは丈夫な建物なので以外にも比較的安全です。阪神淡路大震災の際もガソリンスタンドで火災・爆発は1件もありませんでした。

第3問 ※正解は「×」

地震の場合、まずは近くの学校グラウンドや公園など、落下物等の危険のない広くて安全な場所に避難することが必要です。

第4問 ※正解は「×」

冷静な行動をとるには、正確な情報を知ることが大切です。デマに惑わされることなく、ラジオやテレビから正確な情報をつかみましょう。

第5問 ※正解は「〇」

災害が発生し、避難所生活が始まって、すぐには給水活動や食料の配給がされるとは限りません。

①飲料水は1日最低1人3リットル、保存はポリタンクが便利です。

②生活用水と消火用水については、普段から浴槽やヤカンに汲み置きしておくで役立ちます。

③食料は、米・もちなど主食を用意。お米は普段から多めに買っておきます。副食として缶詰やレトルト食品などを用意し、お年寄り・病人・乳幼児のいる家庭は、そのための食料も用意します。

④煮炊きする、固形燃料や卓上用コンロも忘れず用意しましょう。

◆災害はいつ発生するかわかりません。いざという時のために日頃から備えを万全にしておきましょう。

台風や豪雨などは、テレビやラジオからの情報によって事前に予測でき、被害を最小限に止めることができます。

防災の基本は「自らの身の安全は自ら守る」ことです。

日頃から、いざという時のために非常持出品などを備えておくようにしましょう。

皆さまのご家庭に「防災のしおり」をお配りしています。

防災に関する対策等について記載されていますので、日頃から内容を確認し、いつでも見られるような場所に保管しておきましょう。



◆災害のときこそ「地域の絆」。行政区や町内会でも防災活動について話し合みましょう。

もしもの時に、一番頼りになるのは「地域での助け合い」。

「自分たちの地域は自分たちで守る」といった意識と連携が、災害時において大きな力になります。

◆自分の避難場所を知っておきましょう。

災害が発生し、避難の必要がある場合は、役場から「避難勧告」や「避難指示」などの発令をします。

発令された場合には速やかに避難所へ移動できるよう、あらかじめ自分の避難場所や持出品を確認し、避難の準備をしておきましょう。

また、発令がない場合でも危険を判断した場合は自主的に避難するよう心がけましょう。

「避難勧告」や「避難指示」の発令は、防災無線のほか、緊急速報（エリア）メールで、皆様に周知いたします。

※緊急速報（エリア）メールとは？

沼田町付近（エリア）に居る方に、携帯電話のメールを通じて避難情報を提供するシステムで、人命等にかかわる緊急時に、避難情報等を役場から配信いたします。（H27.8から運用）